

山形県青少年育成県民会議『平成29年度総会』

～5月30日(火)県庁講堂にて開催～

“いじめ・非行をなくそう” やまがた県民運動の展開とさらなる取り組みを決議。

〔総会概要〕

会員や青少年育成団体の関係者約130名の出席のもと、午後1時30分、鈴木常任理事の進行により開会しました。

はじめに柳谷会長が、「県民会議は昭和41年に設立され、51年目を迎えた。県民会議が推進の主体となって関わっている「大人が変われば子どもも変わる」県民運動、“いじめ・非行をなくそう”県民運動があるが、全県的な展開と地域に根差した展開という二つの歯車をかみ合わせた取組みが重要。今年度は、①子どもと地域の大人の対話会、②県内4地区の連絡協議会、市町村民会議への財政的な支援の強化、③いじめ・非行をなくそうセミナーを新規事業として展開、④県民会議、地区連絡協議会ともに会員拡大に汗をかきたい。このような活動を通して、大人が自分たちとは違う世代を作るといった発想に立った若者の活躍支援の場をともに作って



○柳谷会長の挨拶

いきたい。」と挨拶しました。また、平成28年度に役員を退任された方のうち、永年にわたる功績等のあった、佐藤理峰氏、秋葉良一氏、矢口信一氏、山口節子氏にそれぞれ感謝状を贈呈いたしました。（佐藤理峰氏は欠席）

議事に移り、昨年度の事業報告と収支決算報告、今年度の活動方針や事業計画、収支予算、役員を選任などについて協議を行い、提案された全ての議案が承認されました。（今年度役員は裏面に記載）

いきたい。」と挨拶しました。

続いて、来賓の吉村美栄子知事、志田英紀県議会議長、廣瀬渉県教育委員会教育長から御祝辞をいただきました。

〔活動方針〕

昨今の現状は、少子・高齢化、情報化、国際化が急速に進展し、青少年を取り巻く環境が厳しさを増しています。こうした状況下、県においては平成27年3月に「山形県子ども・若者ビジョン」を策定し、「子ども・若者の一人ひとりが安心できる環境の中で、自分を大切に、他者との関わりを持ちながら、よりよい社会を共に創りあげていく力を身につけることができるよう、社会全体で子ども・若者の育ちや自立を支援する」こととしています。このような社会状況や県の施策の方向を踏まえて、

山形大学 安藤 耕己 准教授による講演

『子ども・若者の〈居場所〉の意義

～放課後子ども支援と関わらせて～』

山形大学地域教育文化学部准教授安藤耕己氏より、「子ども・若者の〈居場所〉の意義～放課後子ども支援と関わらせて～」と題し、御講演をいただきました。

講演では、「居場所」の具体例として、岩手県奥州市にある学校、家庭以外の第3の生活領域フリースペース施設「ホワイトキャンパス」について紹介。施設での活動状況や子ども達自身が施設の運営や事業の実施に参画している仕組みを映像や資料を使用して、お話いただきました。また、学校外での学びの意義として、①意味のある他者を持つこと、②他者との関わりで学び、多様な「わたくし」が形成されること、③体験、感動を得て知識、集団内でのルールを習得し、社会力が形成される、とお話いただき、身近な問題として考える機会となりました。



①心身を健やかに育む、②社会力を育成する、③社会参加、社会的自立を促す、④社会環境の浄化の4点を活動の方向といたします。

この活動の方向をもとに3点の重点事項を積極的に取り組みます。①いじめ・非行防止に係る取り組みの推進（青少年が主体的にいじめ問題と向き合い、その解決を考える仕組みを関係機関と一体的に推進する）、②「活動の方向」に係る地域の実践活動の強化、促進（市町村民会議、県地区青少年育成連絡協議会の活動を支援する。）、③青少年を社会全体で育成・支援する環境づくりの推進（「青少年の健全育成」の理解と取り組みが広まるよう気運の醸成を図る。「青少年を地域で見守り、育み、支援する」安心安全な環境をつくる。）

～ 平成29年度 重点事項 ～

- ・ いじめ・非行防止に係る取り組みの推進
- ・ 「活動の方向」に係る地域の実践活動の強化、推進
- ・ 青少年を社会全体で育成・支援する環境づくりの推進

【事業と予算】

1. 県民会議運営事業 8,033,000 円
2. 県民運動総合推進事業 5,207,000 円
 - (1) “いじめ・非行をなくそう” 県民運動 (4,110,000 円)
 - * 市町村民会議等の支援（支援枠の拡充）
 - * 標語の募集・県民運動の周知
 - * いじめ・非行防止セミナー（仮称）【新規】
 - * 生徒と地域の大人の対話会
 - (2) 「大人が変われば子どもも変わる」県民運動等地域社会環境づくり推進 (1,097,000 円)

3. 健全育成意識醸成・環境づくり推進事業 1,000,000 円
 - (1) 明るいやまがた夏の安全県民運動等 (150,000 円)
 - (2) 青少年健全育成県民大会開催 (350,000 円)
 - (3) 少年の主張県大会開催 (500,000 円)
4. 青少年育成広報啓発事業 280,000 円
 - (1) 機関紙等の発行 (180,000 円)
 - (2) 啓発活動 (100,000 円)

【平成29年度役員】

会 長	柳谷 豊彦	
副会長	宮田 浩一	金澤 和子
	伊藤 康則	平井 悠策
常任理事	長岡 好永	齋藤 正典
	井上 達也	野澤 伸治
	菊地 元宏	安達 英一
	鈴木 雄二	元木 十四男
	橋本 正	
理 事	佐藤 重勝	山口 四郎
	辻原 吉子	佐藤 博明
	寒河江 雅広	荒井 寛
	太田 正則	四釜 禎
	小棹 俊輔	鈴木 隆一
	伊藤 富美	星川 務
	高山 喜志子	山川 祐美子
	門脇 徹	大場 秀樹
	舘石 和弘	佐藤 勇
監 事	森 晃	齋藤 哲也

新規会員拡大へ

入会のお願い

山形県青少年育成県民会議は、これまで、次代を担う青少年の健全な育成を図るため、「大人が変われば子どもも変わる」県民運動や「いじめ・非行をなくそう」やまがた県民運動を展開して参りました。今後、山形の未来を託す青少年が元気で社会性豊かに育つよう、より一層力を入れて、取り組みを展開して参ります。活動や趣旨に御賛同・御協力いただける新規会員の方を募集しております。

☆会員の種類と会費

- ・ 特別会員（二〇三万円）
- ・ 賛助会員（一〇五千元）
- ・ 団体会員（一〇 千円）
- ・ 個人会員（一〇 千円）

☆現在の会員数（一、三六六）

会員の皆様には会報をお送りするとともに、特別会員は会報及び総会資料に、賛助会員は総会資料にお名前を掲載させていただきます。

【特別会員】

- ・ 全国JA農業協同組合連合会山形県本部
- ・ 全国共済農業協同組合連合会山形県本部
- ・ 一般社団法人山形県建設業協会
- ・ 一般社団法人山形県銀行協会
- ・ 山形放送株式会社
- ・ 出羽三山神社
- ・ 高橋畜産食肉株式会社

（敬称略 順不同）